

第2章

実施事業所へのインタビュー

この章では、環境コミュニケーションを実施した県内事業所（第1章の6事業所）に実施までの準備過程や実施後の感想等を伺い、質問ごとにまとめました。

事前準備に関する情報等、開催を検討される事業者様にとって有用な情報が数多くまとめられていますので、参考にしてくださいと思います。

—目 次—

1 事前準備

- Q1 実施のきっかけはなんですか？ …… P 112
- Q2 準備で心がけたことは何ですか？ … P 113
- Q3 どんな準備をしましたか？ …………… P 114
- Q4 準備に要した時間と人数は？ …………… P 116
- Q5 参加者はどのように選びましたか？ P 117
- Q6 どのように開催について通知しましたか？ …………… P 118
- Q7 実施日・場所・時間の設定に当たり配慮した点は？ …………… P 119
- Q8 進行役等を依頼しましたか？ …………… P 120
- Q9 実施までのスケジュールは？ …………… P 121
- Q10 参考とした研修や資料はありますか？ P 123
- Q11 協力を受けた組織はありましたか？ P 124
- Q12 実施内容はどのように決めましたか？ P 125
- Q13 実施に関与した部署は？ …………… P 126

2 実施後の感想

- Q14 実施してよかった点は何ですか？ … P 127
- Q15 どのような点に苦労しましたか？ … P 128

- Q16 実施後に変ったことは何ですか？ P 129
- Q17 留意・工夫した点はありますか？ … P 130
- Q18 社内の反応はどうでしたか？ …………… P 131
- Q19 どのくらいの経費がかかりましたか？ … P 132
- Q20 環境コミュニケーションの開催で明らかとなった今後の課題は何ですか？ …… P 133
- Q21 今後の計画、見通しなどを教えてください。 …………… P 134

3 その他

- Q22 これまで、住民の方からどんな意見が出ましたか？ …………… P 135
- Q23 実施前、住民の方から環境関連の苦情はありましたか？ …………… P 137
- Q24 環境コミュニケーション実施以前は、地域住民の方とどのような交流を行っていましたか？ …………… P 138
- Q25 環境コミュニケーションの他に貴事業所でされている環境への取組はありますか？ …………… P 139

1 事前準備

Q1 実施のきっかけはなんですか？

日本製紙クレシア

以前から、周辺住民を対象に工場見学会を開催していましたが、県からの働きかけにより、平成26年度から「環境コミュニケーション会議」として開催することとしました。

トーヨーケム

県からの働きかけがあったため社内で検討したところ、会社の経営方針に「地域との共生」を掲げていること、また、P R T R法で環境コミュニケーションの開催が求められていることなどから、平成14年度から環境コミュニケーションを開催することとしました。

パイオニア

川越市の環境活動で知り合った東洋大学の小瀬博之 教授が授業で環境コミュニケーションを取り上げておられ、学生と民間企業間のコミュニケーションについて関心を持っていただいたことをきっかけに、埼玉県や川越市とも連携し、平成28年度から産学官による環境コミュニケーションをスタートさせました。

田島軽金属

事業所周辺の宅地化が進み、周辺住民の意見を参考に、周辺環境に十分配慮した事業所づくりに努めるとともに、相互理解を深めていくことが重要と考え「工場見学会及びバーベキュー大会」を開催することとしました。

凸版印刷

化学物質の取扱・管理について、社会的な関心が高まっている背景と県からの働きかけを受け、社内で検討したところ、平成16年度から「環境活動報告会」を開催し、環境負荷低減活動について説明することとしました。

D I C

平成17年から環境モニター委嘱制度を導入し、事業活動に伴う騒音や振動、臭気などに関する周辺住民からの情報に基づき、環境改善を図り地域との共生に努めています。

この一環として平成22年に自治会役員を対象として開催した、工場見学会をきっかけとして、平成24年から、「環境説明会」として開催することとしました。

Q2 準備で心がけたことはなんですか？

日本製紙クレシア

- ・環境への取組について、参加者にできるだけ分かりやすく説明することを第一に心掛けました。
- ・第一回環境コミュニケーション会議では、化学物質に関する説明及び質疑応答に対する補足説明を目的として、環境省事業化学物質アドバイザーの派遣を依頼しました。
- ・参加者の環境への関心が高いことから、環境トラブルが発生した際は、環境コミュニケーション会議を通じて情報を的確に開示するように努めています。

トーヨーケム

- ・専門用語を使わず、わかりやすい言葉で説明することです。
- ・断定的な言葉（負荷がない、安全である、など）の使用は避け、環境データを公表した上で、負荷を減らしてきた活動や今後の計画を説明することです。
- ・多くの方が出席できるように日程を調整することです。

パイオニア

授業の要素もあったので、はじめに大学側の考えや要望を聞き、コンテンツ、資料、及び説明について、希望に沿う形となるよう検討しました。

田島軽金属

一人でも多くの周辺住民に参加いただき、参加者に当社の業務内容や環境への取組、周辺環境へ取り組む姿勢について知っていただくことです。

凸版印刷

- ・参加者に分かりやすいよう、表現・説明方法を考えました。
- ・説明内容・役割等、重複することが無いよう、事前確認を行いました。

D I C

説明会の開催時間は30分程度ですが、内容が毎年単調になっていないか等、内容を整理／検討しました。

Q3 どんな準備をしましたか？

日本製紙クレシア

会議開催にあたり、次のものを準備・事前確認しました。

[準備したもの]

- ・会議開催通知の案内状
- ・会議当日に使用する説明用スライド資料
- ・参加者アンケート・アンケート回答用紙・筆記用具
- ・参加者名簿・工場見学時の班編成名簿
- ・参加者の立札・座席表
- ・工場見学者用の帽子・ネットキャップの用意・ガイドリーダーの配置
- ・飲料
- ・参加者へのお土産（当工場製品）、昼食 *周辺住民のみ対象

[事前確認したもの]

- ・工場見学ルート確認（雨天時の対応を含む）
 - ・来場者誘導時の対応（自転車置場の確保を含む）
- また、会議開催当日までのスケジュール表を作成し、進捗管理を行ないました。

トーヨーケム

- ・必要に応じて担当者に対して勉強会を実施
- ・説明資料の作成
- ・見学ルートの選定と各担当者の役割分担の決定
- ・前回の環境コミュニケーションで出された意見に対する取組や活動の報告資料の作成

パイオニア

企業紹介・環境活動・CSR活動・求める人材像等の説明資料の作成、見学コースの手配。

説明や見学に当たり、社内関連部門（リサイクルセンター、CSR推進室、人事部、TADL*等）との調整を行いました。

※TADL：テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ

田島軽金属

- ・案内状の作成及び各戸配付
- ・配付資料準備
- ・見学ルートの確認とより安全な通路の確保
- ・参加者の安全対策

凸版印刷

- ・ 当社幹部会への主旨説明
- ・ 参加者の募集広報
- ・ プレゼンテーション用資料の作成
- ・ 配布冊子の選定・準備
- ・ アンケート内容の選定、作成
- ・ 見学コースの決定、対応者の選定
- ・ 取扱化学物質の各種データの集約（P R T R届出書類、実績集計データ、S D Sなど）
- ・ 社内、関係部署への通達

D I C

- ・ 下記の情報確認と資料作成
 - ①環境モニターや周辺住民からの情報（騒音／振動、臭気に関する苦情など）
 - ②事業所の話題や最新動向（敷地利用や建屋新設などの工事関係、製品の活用事例など）
 - ③事業所の環境測定結果（騒音／振動、臭気、大気／水質関係など）
 - ④エネルギー使用や廃棄物発生状況、災害等発生時の地域対応など
 - ⑤環境施設や環境測定実施時の写真など（公開可能な範囲）
- ・ 配布資料（全社環境レポート、事業所サイトレポート、事業所案内、説明資料など）の作成
- ・ ノベルティグッズの準備（全社制作の記念品を流用）

Q4 準備に要した時間と人数は？

日本製紙クレシア

時間：（第1回）約5か月（第2回以降）約3か月

人員：主に準備に携わった人数は3人

当日は、会場までの誘導や工場見学案内コースの安全確認等のために、会議参加者とは別に4人の応援を依頼しました。

トーヨーケム

時間：（当初）約4か月（現在）約1か月

人員：（当初）10人（現在）7人

パイオニア

時間：約1.5か月

人員：主担当4人

打合せを行い、1か月程度で資料・配布物の作成・調達、機材の準備、関連部門との調整などを行いました。

田島軽金属

時間：約2週間（当日）3時間

人員：8人（当日）30人

凸版印刷

時間：事前打合せ30分、資料作成3時間、会場準備1時間、環境NPO事前打合せ1時間

人員：12人

D I C

時間：2～3週間

人員：2人

普段の事業活動の中で環境説明会の題材を探しています。

Q5 参加者はどのように選びましたか？

日本製紙クレシア

近隣の方々につきましては、近隣自治会長様に一任しています。
ただし、会場の都合上、1自治会様当り8人程度としています。
また、県（大気環境課、越谷環境管理事務所）、草加市に参加を依頼しています。

トーヨーケム

- ・当初：川越市環境担当課と市内の環境NPOに人選を依頼
- ・現在：（行政）川越市環境担当課に行政側の人選（県、市）を依頼
（近隣自治会）自治会長様に一任（各自治会3～4人程度）
近隣企業にも開催を案内

パイオニア

東洋大学、県、川越市に案内を出し、参加者を募りました。

田島軽金属

- ・工場に隣接の住宅17戸、共同住宅2棟14戸、近隣住宅5戸
（5月開催時には、地区役員及び地元市議会議員へも案内）
- ・近隣企業2社及び構内請負企業2社

凸版印刷

「利害関係者」への報告を重視していたので、周辺住民を対象にしました。
環境学習の支援として環境NPOをお願いしました。

D I C

- ・当該年度における自治会役員と地区班長（何れも任期毎に入れ替わる）
- ・任意の参加者（町内有識者）
- ・行政関係者（伊奈町環境対策課、県大気環境課）

Q6 どのように開催について通知しましたか？

日本製紙クレシア

- ・近隣自治会：書面及びFAX
- ・行政：書面及び電子メール（書面を添付）

トーヨーケム

- ・当初：参加者宅に総務課長が案内状を持参
- ・現在：自治会長宅と近隣企業に総務課長が案内状を持参
- ・行政には電話と電子メールで通知

パイオニア

- ・東洋大学：電子メール
- ・県：郵送
- ・川越市：市役所へ持込み

田島軽金属

- ・開催日の1か月前に各戸にポスト投函
- ・当社公道面にポスター掲示
- ・当日の朝、各戸を訪問し参加を呼びかけ

凸版印刷

- ・（周辺住民）当社総務部を窓口とし、町内会代表を通して募集
- ・（環境NPO）当社環境施設部を窓口に通知

DIC

開催の1～2か月前に自治会の区長宅への訪問または電話連絡などにより地区班長会での環境説明会開催について申し入れを行い、了承を得ています。

Q7 実施日・場所・時間の設定に当たり配慮した点は？

日本製紙クレシア

近年は、（6月が環境月間であることから）6月に開催しています。

トーヨーケム

地元自治会の方は農業従事者が多いので、畑作業が忙しい時期（春・秋）は避けるようにしています。

パイオニア

大学側の授業日程を考慮して決定しました。

田島軽金属

5月、10月の年2回実施していますが、町会・学校などの行事（運動会・お祭り）と重ならないよう、多くの方が参加できる日程を設定しています。

凸版印刷

「環境活動報告会」のみ開催しても、周辺住民に参加への意識を喚起することはなかなか難しいと思いました。

このため、なるべく御近所の多くの方々にご参加いただけるよう、毎年ご招待している当社のビール大会に日程を合わせました。

様々な年齢層の方に、生活の中での化学物質とのかかわりに関心を持っていただくことも必要と感じ、親子での環境学習会も同時開催することにしました。

D I C

例年、班長会の最後には周辺住民同士の懇親会が予定されているので、影響が及ばないように開催時間の厳守に配慮しています。

Q8 進行役等を依頼しましたか？

日本製紙クレシア

第1回開催時のみ、化学物質に関する解説のために環境省事業化学物質アドバイザーに依頼しましたが、第2回以降は当工場従業員のみで実施しています。

トーヨーケム

- ・当初：進行役を大学教授に、化学物質の解説役を市の環境担当課に依頼しました。
- ・現在：全て自社の従業員が実施しています。

パイオニア

進行役などを外部に頼まず、当社職員が司会進行を行いました。

田島軽金属

外部には依頼せず、当社の社員が進行を執り行いました。

凸版印刷

ファシリテーターなどは外部に頼まず、司会進行は当社職員が行いました。

D I C

環境説明会は自社職員が進行役を務めています。（地区班長会の議事進行は区長が実施）

Q9 実施までのスケジュールは？

日本製紙クレシア

- ・実施時期の約3か月前に開催案内状を各自治会長及び行政に送付
(開催時期の1か月前までをめぐりに出席者人数と氏名を確認)
出席者が確定次第、座席表や名札などを作成
人数分の帽子やガイドリーダーが準備可能かどうかをチェック
- ・会議当日に使用するスライド資料は大枠を開催時期2週間前までをめぐりに作成
内容の確認と修正を実施し2日前までに完成させ、会議参加者の役割分担や工場見学ルート等についても同時進行で確認
- ・資料のコピーや会場設営は、会議前日までに実施

トーヨーケム

- ・当初：4か月前 社内の経営層に実施について説明し、了承を受ける
3か月前 社内で実施方法、説明方法の打合せを開始
市内の環境NPO、行政担当者と実施内容の打合せ
1か月前 説明資料の作成
参加者へ開催案内を通知
- ・現在：2か月前 開催する旨社内に報告
1か月前 説明資料の作成
自治会の会合に出席し、開催について口頭でお知らせ
2～3週間前 参加者へ開催案内を持参

パイオニア

- ・半年前に大学と日程及び内容(概略)を調整
- ・1.5か月前に段取りファイルを作成し主担当で打ち合わせ
分担を決め資料、配布物、機材等の準備、関連部門との調整
- ・一週間前に進捗確認
- ・3日前に資料完成、印刷、配布物準備
- ・前日に関係者で当日の段取り等の最終確認(打合せ)を実施

田島軽金属

- ・役員会で案内先を検討(1か月前)
- ・開催案内状を持参(1か月前)
- ・当日の役割分担確認(2週間前)

凸版印刷

- ・60日前 日程の決定
- ・50日前 町内会に日程を連絡
- ・45日前 環境NPOに日程と環境学習支援を要請
- ・30日前 資料の準備開始
- ・14日前 スケジュール、役割分担を決める
- ・5日前 飲料、お菓子を準備
- ・3日前 アンケート用紙、記入用紙を準備
- ・当日 会場準備

D I C

- ・事業所の年間計画を立案し、環境説明会の開催を決定（概ね6か月前）
- ・自治会への開催申入れ（1～2か月前）
- ・資料作成開始（1～2週間前）
- ・配付資料準備（～開始日前日）

Q10 参考とした研修や資料等がありますか？

日本製紙クレシア

- ・県及びさいたま市共催の環境コミュニケーション研修会
- ・環境コミュニケーション事例集

トーヨーケム

当初は環境コミュニケーションの実施事例がほとんどなかったため、環境コミュニケーションを専門に研究している大学教授から資料をいただき参考にしました。

パイオニア

参考とした研修や資料などはなく、当社で考案しました。

田島軽金属

参考とした研修や資料などはなく、当社で考案しました。

凸版印刷

- ・県及びさいたま市共催の環境コミュニケーション研修会
- ・前年までの資料

D I C

- ・Q3で記載した資料（①～⑤）や前回までの開催記録
- ・県及びさいたま市共催の環境コミュニケーション研修会

Q11 協力を受けた組織はありましたか？

日本製紙クレシア

環境省事業化学物質アドバイザー制度について、県大気環境課から紹介を受け、第1回環境コミュニケーション会議開催時に活用しました。

開催にあたっては、県（大気環境課、越谷環境管理事務所）、草加市役所環境課に出席を要請しています。

近隣自治会様にも御協力いただき、周辺住民の方々も多数御参加いただいています。

トーヨーケム

本社の環境担当部門、川越市内の環境NPO、地元の環境保全連絡協議会、川越市環境担当課

パイオニア

県と川越市に協力を要請しました。

田島軽金属

外部組織からの協力を要請せず、当社で開催しました。

凸版印刷

川口市民環境会議（環境NPO）

D I C

- ・伊奈町環境対策課
- ・県環境部大気環境課（化学物質担当）

Q12 実施内容はどのように決めましたか？

日本製紙クレシア

環境コミュニケーション事例集を参考に、当事業所の概要や環境管理状況や安全管理状況を中心に説明を行なっています。

特に環境関連で取り組んでいる事象があれば、その内容のご紹介をするようにしています。

また、直近で環境関連のトラブルが発生した事例があれば具体的な事象と再発防止対策実施状況を報告するようにしました。

トーヨーケム

大学教授からいただいた資料を基に自社で検討して決定しました。

パイオニア

事前に大学側の要望を伺い、考慮して決定しました。

田島軽金属

役員会で実施内容を決定しました。

凸版印刷

行政・事業者それぞれの立場での化学物質へのかかわりを考慮して内容の検討を行い、当社は環境報告書や化学物質の運用管理状況について説明することとしました。

D I C

事業所として周辺住民に知っていてもraitたい、あるいは興味があると思われる内容を中心に、毎年単調な内容にならないよう、Q10で記載した研修や資料に基づき決めました。

Q
11

Q
12

Q13 実施に関与した部署は？

日本製紙クレシア

品質環境管理室が主幹部署となり、近隣自治会様との連絡窓口は事務課が担当しています。会議当日は、工場各部門の代表者が出席しています。

トーヨーケム

- ・ 管理部
- ・ 環境安全部
- ・ 本社総務部（CSR推進グループ）

パイオニア

- ・ 環境推進室（主管部門）
- ・ 総務部
- ・ CSR推進室（CSR活動の説明および意見交換会）
- ・ 人事部（次世代の人材に期待することの説明）
- ・ TADL（スタジオでの音楽の視聴）
- ・ リサイクルセンター担当

田島軽金属

役員、総務部

当日は、工場の各部門リーダー以上の役職も関与しています。

凸版印刷

工場長、総務部、生産技術部、環境施設部、品質保証部

DIC

安全環境グループ、総務グループ、各技術グループ及び各製造グループ

2 実施後の感想

Q14 実施してよかった点はなんですか？

日本製紙クレシア

周辺住民が当事業所に期待している事柄を直接お伺いできる機会が増やせたこと。
事業所内でも環境への関心を更に高めるきっかけとすることができたこと。

トーヨーケム

- ・ 製造所が実施している環境リスク低減のための日常の活動を理解していただいた点
また、それによって地元自治会の方の不安感が減ってきている点
- ・ 地域の方からいろいろな情報をいただけるようになり、話が大きくなる前に対応できる点
- ・ 地域の方の感覚が、社内の判断レベルとは違うことを従業員が意識するようになった点
(例：場内の臭いの感じ方)

パイオニア

大学の教授から「企業としての社会的責任の要請を実感できるとともに授業にもフィードバックしている。内容はほぼ大学側の望むところであった」とのコメントをいただきました。
パイオニアとしては、若い世代にパイオニアという会社を知っていただくことができ、さらにリサイクルや社会貢献活動の報告・見学などで企業価値をアピールできたと実感しています。
大学・会社ともにメリットが感じられた環境コミュニケーションが開催できました。

田島軽金属

- ・ 当社が近隣の方々に迷惑をかけない努力をしていることについて、理解をいただいた点
- ・ 周辺住民の方々と交流を深めることができた点

凸版印刷

改めて、周辺住民とは、日頃から様々な行事などを通して相互にコミュニケーションをとっておくことが肝要であると感じました。

DIC

- ・ 企業として色々な面で努力している姿を見せることができた点
- ・ 社内の苦情対応が円滑にできるようになった点

Q15 どのような点に苦勞しましたか？

日本製紙クレシア

回を重ねるにつれて報告内容が従来と大きく変わらなくなってしまうため、いかに新しい内容を報告資料に取り込んでいくか。

周辺住民が特に関心を持っている内容を多く取り込んだ会議となっているかどうか。

トーヨーケム

- ・ 専門用語を避けて分かりやすく説明すること
- ・ 車で参加される方の駐車スペースの確保（場内に空きスペースが少ないため）
- ・ 安全対策（参加者への危害防止、危険物施設に対する火気排除）

パイオニア

地域住民の皆さん（近隣自治会）との環境コミュニケーションについて15年以上実施しているので、苦勞という程のものはありませんが、学生向けにどうアレンジするかという点が検討ポイントとなりました。

田島軽金属

開催に当たって、役員が工場案内や意見交換の役割を担うことがあった。
今後は、従業員もこれらの役割を担うことができるよう努めたいです。

凸版印刷

全年齢層の参加者が理解できるように資料を説明する難しさ

D I C

参加者には現役世代を始め、子供連れの女性から高齢の方まで幅広い層が集まるので、難しい事柄を分かりやすく、短く、かつ平易な言葉を用いて説明することに苦勞しました。

Q16 実施後に変わったことはありますか？

日本製紙クレシア

環境コミュニケーション会議を通じて、周辺住民が当事業所にどのようなことを期待してくださっているのかを自覚することができました。

トーヨーケム

環境対応について、自己満足のレベルで終わらせず、外部の方はどう捉えるかということに基づいて対応する意識づけができました。

パイオニア

学生へのアンケート結果や教授の感想などから、こうした活動に大学側も価値を感じていただけたと認識でき、実施する意味について、少しずつ自信が持てるようになりました。

今年で3回目になりますが、産学官で行った実績を社内外にアピールできるようになりました。

田島軽金属

周辺住民との良好な関係を保つことの大切さを改めて確認しました。

凸版印刷

周辺住民に対する工場の責任と連携を感じました。

DIC

周辺住民からの苦情（の言い方）が柔らかくなりました。

Q17 留意・工夫した点はありますか？

日本製紙クレシア

- ・ 報告内容が毎年単調とならないように資料を作成
- ・ 環境関連の対策として工場が取り組んでいる事柄について、わかりやすく説明
- ・ 排水処理設備での排水処理の結果、どの程度水がきれいになっているかを実感してもらうため、最終放流口で排水を採取し、実際に見てもらったり臭いをかいでもらったりした点
- ・ 生産工程の見学で場内を通行時に見学ルートを外れないように、適宜従業員をルートに配置

トーヨーケム

- ・ 専門用語を除いて、わかりやすい言葉で説明すること
- ・ 参加者から意見が出にくいので、事業所側から問いかけをしていくことで、参加者の思いを引き出しやすい雰囲気を作っている点
- ・ 前回の意見や質問に対する取組や対応を報告するようにしている点

パイオニア

大学側からの要望に応え、具体的な環境活動に加え、CSRの取組についても説明しました。

地域住民の皆さんとの環境コミュニケーションは地域の安心・安全のためのリスクコミュニケーションという位置づけでしたが、大学との環境コミュニケーションでは、CSRや地域貢献中心の機会のコミュニケーションを新たに行うことができました。

田島軽金属

多くの方に参加いただくため、バーベキューと工場見学会をセットで開催した点

凸版印刷

開催後は、参加者に内容についてのアンケートを必ず行い、今後の活動に活かすようにしています。

県、市行政とは、このような環境コミュニケーション開催の主旨・内容について相互に理解と認識を深めています。

D I C

- ・ 区長以下、自治会役員の交代時には、新任役員全員を事業所に招き工場見学を実施
- ・ 専門用語や業界用語は使わない点

Q18 社内の反応はどうでしたか？

日本製紙クレシア

周辺住民の方々が当事業所に期待していることや気をつけてもらいたい事象を認識するきっかけになっていると感じています。

トーヨーケム

- ・初めは、なぜ当社で実施するのか？議論が紛糾したらどうするのか？という疑問を持った従業員もいましたが、現在は、良い取組なので継続していこうという意識に変わりました。
- ・アンケートなどで事業所に対して不安感が減少した結果をいただけたことも、2回目以降も実施するきっかけとなりました。

パイオニア

学生目線での意見・質問が寄せられ、対応した社員には地域住民の皆さんとのコミュニケーションとは違った刺激があったようです。

田島軽金属

周辺住民と忌たんのない意見交換ができたとの声がありました。

凸版印刷

近隣の方に対しての責任感を持つようになりました。

D I C

リーマンショック以降、中止していた事業所の盆踊りイベントの再開要望や、地域のお祭りでのおみこしの担ぎ手不足の問題など、周辺住民との意見交換により交流の機会を知ることができました。

Q19 どのくらいの経費がかかりましたか？

日本製紙クレシア

飲料、昼食、手土産で費用が発生しておりますが少額です。

トーヨーケム

飲料代、資料コピー代、お土産などで5万円程度です。

パイオニア

C S R 報告書、資料印刷、食事代、飲料代、会社 P R グッズ代等で1万円程度です。

田島軽金属

バーベキュー費用で一人当たり2,500円です。

凸版印刷

約1万円です。

D I C

説明会や懇親会への飲料提供代のほか、資料印刷代などで5万円程度です。

日本製紙クレシア

- ・環境に対する関心のほか、防災面（大規模な地震や火災発生時）での地域連携に関する問合せが寄せられました。
- ・環境コミュニケーション会議を「環境に対する取組を示す場」とするだけでなく「地域とどう関わっていくかを示す場」へと少しずつシフトしていく必要を感じています。
- ・報告内容が難しいという感想をいただいておりますので、できるだけ専門用語を使わず状況がイメージしやすい資料提供を心掛けなければいけないと思っています。

トーヨーケム

内容が単調なものとならないよう、どのように報告内容を設定するかということ

パイオニア

限られた時間の中で、学生とのディスカッションの時間を、より確保するために、説明、見学、体験の時間設定にさらなる改善が必要だと考えています。

田島軽金属

まだまだ、地域で当社の存在が知られていないので、大勢の人が参加していただけるよう取り組んでいきたいです。

凸版印刷

サイトレポートの公表について、一考の余地があります。

D I C

- ・毎年開催による説明内容の単調化の防止
- ・自治会役員交代時の工場見学実施（役員が現役世代の場合は平日開催が困難）
- ・在所地区以外の地域への説明会開催について検討

Q21 今後の計画、見通しなどを教えてください。

日本製紙クレシア

環境コミュニケーション会議は毎年実施する予定です。

トーヨーケム

今後も毎年継続して開催していきます。

パイオニア

今後も継続させていきたいと考えています。

更に環境コミュニケーションの対象領域を広げることも検討していきます。

田島軽金属

バーベキュー行事（5月・10月）に組み入れて開催します。

凸版印刷

毎年実施していきたいです。

D I C

今後も継続して実施していきたいです。

3 その他

Q22 これまで、住民の方からどんな意見ができましたか？

日本製紙クレシア

- ・地域防災についてもう少しお話してほしい。
- ・50年くらい近所に住んでいますが、今回興味深く見せていただきとても嬉しく思った。また機会があったら見学したい。
- ・次回は他の方に見学機会をまわして、より多くの方に見ていただきたい。
- ・水、ガス、電気などずいぶんたくさん使用して紙が製造されているのだと思った。
- ・今後も継続して環境を向上させる努力をお願いしたい。
- ・自分では気づかない内容でも、会議でいろいろな意見を聞くと参考になる。環境に対しての多くの取組などもよくわかった。

トーヨーケム

- ・大規模な自然災害が各地で発生しているが、設備の耐震化など災害対策はできているか？
⇒設立から50年近く経過しているが、リスクに応じて順次更新、改良投資を実施しています。また、防災訓練も年2回実施して万一の際に対応できるように準備を進めています。
- ・厳しい管理や事故の防止に努めていることが初めて参加して良く分かった。
なお一層の努力をお願いします。
- ・今後も、周辺住民に情報を公開してほしい。
- ・いつも最悪の事態を想定したシミュレーションは必要と思います。
- ・近所でも、何を作っているか分からなかった。参加して大変良かった。

パイオニア

環境コミュニケーションの感想として、学生から以下の様な御意見をいただきました。

- ・普段の講義では、CSRの勉強をしてもあまり実感が湧かなかったが、目の前で実際の取組を例示していただき、とても興味深かった
- ・CSRについて授業で勉強しており、座学だけでは本当に企業が実践しているのか分からずただ書いてあるだけでは？と思っていましたが、今回実際に見学して企業が試行錯誤の上、色々なことを実践しているのを実際に目の当たりにできて良かったです。
- ・パイオニアでは、ゴミではなく価値のある売れるものとして扱っていて各部署などでも分別を徹底しており、廃棄方法なども工夫してゴミを捨てることにお金をかけるどころか、利益を出しているところがとても印象的でした。

田島軽金属

弊社社員の明るい挨拶に好感をもてるとの声をいただいた。
月一回の近隣道路などでのゴミ拾い清掃についても感謝されました。

凸版印刷

- ・町内会としても、貴社の企業活動及び環境対応に非常に関心を持って見守ってきた。今回このような形で説明会を実施していただき感謝する。
- ・これほどまでに環境に配慮した設備対応及び環境対応を行わなければ、一冊の本が出来あがらないことに改めて深い感慨を覚えた。

D I C

- ・何を作っている工場なのか長年疑問だったが、よくわかった。目立たないが、身近なものに使われている製品が多く驚いた。
- ・工場の遊水地を見たが、きれいな水であり安心した。
- ・工場全体がきれい。従業員も挨拶、通路区分遵守などしっかりしている。
- ・今度の地域代表者会議で報告したい。
- ・北風が吹く時期に溶剤臭を感じるがあった。身体に害はないのか？
- ・物流センター（関係会社）入場門のセンサー音（車両出入り警告音）が夜間にも鳴る。止められないのか？
- ・環境モニターの委嘱では何か測定機器を貸与して行っているのか？
- ・環境モニターの委嘱について、何か行政から指導があって行っているのか？
- ・事業所主催の夏祭りについて「現在は行われていないのか？」
- ・環境測定の実施（特に臭気）について（測定値、測定時間の妥当性及び伊奈町への水質データ報告有無などについて）

Q23 実施前、住民の方から環境関連の苦情はありましたか？

日本製紙クレシア

平成29年10月に騒音苦情を受信しました。
(受信状況や再発防止対策等について、平成30年開催の環境コミュニケーション会議にて報告)

トーヨーケム

特にありません。

パイオニア

大学の学生を対象としているのでありません。

田島軽金属

- ・フォークリフト走行時の振動…… (対策) 走行の仕方を用意
- ・20時以降の騒音…… (対策) 20時以降の操業はしない
- ・臭気がきつい…… (対策) 臭いの少ない添加剤、樹脂硬化剤に変更

凸版印刷

ありませんでした。

D I C

臭気、廃棄物集積場の更新工事に伴う騒音、フォークリフトの夜間走行音等について苦情がありました。

Q24 環境コミュニケーション実施以前は、地域住民の方とどのような交流を行っていましたか？

日本製紙クレシア

- ・工場見学
- ・草加市主催の環境イベントへのブース出展
- ・地域で実施されるイベント等に対する製品協賛

トーヨーケム

- ・周辺住民への戸別訪問（年2回程度）
- ・自治会の会合への出席
- ・地元のお祭りへの協力
- ・自社グラウンドの貸出

パイオニア

大学の学生を対象とした交流は行っていませんでしたが、周辺住民とは環境コミュニケーションを開催していました。

田島軽金属

地元の新年会には当社の代表が毎年出席していました。

凸版印刷

- ・工場見学会の実施
- ・地区行事（運動会、ソフトボール大会）への参加
- ・周辺住民への戸別訪問（年末年始時に随時）
- ・社内施設の開放
- ・工場周辺の定期的な清掃など

D I C

商工会や防災活動、自治体の夏祭りイベントへの共催（出店）など

Q25 環境コミュニケーションの他に貴事業所でされている環境への取組はありますか。

日本製紙クレシア

- ・市内の小中学校から排出される紙パック飲料容器を受け入れ、製品の原材料として再利用（成果品を年に2回、草加市に納入）
- ・紙パック飲料容器などから原料を取り出した際に発生するポリフィルムを用いた、RPF（固形化燃料）やペレット（再生プラスチック原料）の生産

トヨーケム

- ・企業グループとして制作したCSR報告書のホームページへの公開

パイオニア

- ・ゴミゼロ運動を年4回実施（彩の国ロードサポート制度へ登録）
- ・川越まつり会場クリーン活動の実施（清掃活動）
- ・パイオニアの森での森林保全活動の実施
- ・エコプロダクツ川越への出展（製品解体、分別、リサイクルの体験）

田島軽金属

- ・エコアクション21認証取得（平成24年3月）
二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減及び化学物質使用量の削減対策を実施
- ・毎月一回、社員全員で始業時間前にクリーン活動と題して近隣の道路などでの清掃活動を実施
- ・近隣の小学校からアルミ缶を収集し、それを原料としてアルミ合金製のモニュメントを制作し、羽生市に提供

凸版印刷

- ・工場周辺での近隣清掃
- ・生物多様性保全活動

DIC

- ・事業所サイトレポートの作成
- ・生物多様性保全への取組として遊水池（環境施設）へのビオトープ（生物生息空間）設置検討

Q
24

Q
25